

報道関係各位

2018年10月26日
仙北インパクトチャレンジ実行委員会

「第二回仙北インパクトチャレンジ」開催のお知らせ

2018年11月28日、あきた芸術村（秋田県仙北市）において、IoT/AIなどの最新技術を活用した地域事業活性化、地域経済圏振興を目的とした近未来技術活用事業の見本市、仙北インパクトチャレンジを開催する。産官学の関係機関・企業など約30団体が参集する全国規模のイベントで、秋田では2回目の実施となる。なお今回は京都大学医学部との共催で、健診情報の可視化と地域への還元のための未来シンポジウムも実施する。

■仙北インパクトチャレンジとは？

インパクトチャレンジとは、「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」をメインテーマとした産官学が連携する地域イベントだ。今回で2回目となる。全国からIoT/AI関連の事業者を中心に、官公庁・関連団体、大学、メディアなど約30の企業・公的団体・大学が参集して開催する。来場者は企業や個人の参加者など約300名の来場を見込む。

当地でインパクトチャレンジを行う理由は2つある。ひとつは仙北市が2016年に国家戦略特区として選定され、IoT/AIなどを活用した実証事業を数多く行ってきたため、仙北市を実証フィールドとした事業者は全国に数多くいることだ。もう1つは、仙北市が秋田県内では初の地方版IoT推進ラボとして活動している実績もあることだ。現在秋田県では3つの地方版IoT推進ラボがあるが、仙北市が初めてのラボだ。

イベント当日は、最新技術を活用した事業化事例を産官学の参加者が持ち寄り、事業発表会や関係者との情報交換、交流を行う。全国のIoT/AI事業化の紹介を中心としたイベントであると同時に、秋田で行われる最新技術の見本市および全国のキーパーソンが集まるカンファレンスでもある。秋田の地域から全国に向けての情報発信に期待が寄せられる。

■会場

開催場所は「あきた芸術村」。仙北市のランドマーク的な施設で、地元劇団わらび座の専用劇場や温泉施設ゆぼぼなどの宿泊施設、地ビールレストランなど、舞台芸術を中心とする総合レジャー施設であるこの施設においてブース展示、参加者の交流、情報交換、提案活動、講演会などを行う。

■実行委員長より

仙北インパクトチャレンジは国家戦略特区認定のアドバンテージを生かした事業を創造、展開することを目指します。特に新規の事業を展開するうえで国家戦略特区という有利な条件を生かして、仙北市（秋田）を拠点とした、事業創造のための見本市、企業連携、交流の場を構築いたします。地域と首都圏の交流。近代技術を伝統文化との交流。産業と官庁、学術団体との融合など新たな事業創造の発火点となるイベントが仙北インパクトチャレンジです。（仙北インパクトチャレンジ実行委員長 伊嶋謙二）

「実行委員長の略歴」

一般社団法人創生する未来代表理事。秋田生まれ。矢野経済研究所での IT 産業の調査・研究業務に従事した後、1998 年に IT 調査会社ノークリサーチを設立。中堅・中小企業（SMB）市場の IT 調査が専門。また民間企業だけでなく経済産業省、総務省などの官庁や商工会議所や自治体などの公的な団体からの調査・コンサルティングも行う。2017 年 6 月に一般社団法人創生する未来を設立。現在に至る。

■日時

2018 年 11 月 28 日 10 時から 17 時 参加費無料

■開催地

〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430

あきた芸術村 温泉ゆほぼ 本館 Tel 0187-44-3311(代表)

■主催

仙北インパクトチャレンジ 実行委員会

- ・株式会社秋田ケーブルテレビ
- ・株式会社わらび座
- ・仙北市 IoT 推進ラボ
- ・SFP パートナーズ
- ・一般社団法人 創生する未来

■共催

- ・京都大学学際融合教育研究推進センター政策のための科学ユニット

■後援（予定含む）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 経済産業省 東北経済局 | 秋田県産業労働部 |
| 独立行政法人 情報処理推進機構 | 秋田デジタルイノベーション推進コンソーシアム |
| 特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会 | 仙北市 |

■連絡先

実行委員長 伊嶋謙二

電話 03-5244-6691 e-mail : ishima@souseimirai.jp

(一般社団法人創生する未来)

●仙北インパクトチャレンジ実行委員会事務局

〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字源左工門野 96

「TAZAWAKO ベース」内（秋田新幹線田沢湖駅前「みずうみ」別棟 1F）

「参考資料」

第二回仙北インパクトチャレンジ詳細

テーマ :

「未来に向かって自力で生き抜くための行動を起こす。地域からの事業創造」

「当日のスケジュール」:

2018年11月28日 あきた芸術村ゆほぼ及びわらび座 DAF (デジタルアートファクトリー)

イベント全体のスケジュール

10:00 開場 17:00 閉場 18:00 懇親会 (別会場)

見本市会場

10:00 ブース出展開始

13:00 仙北インパクトチャレンジメインステージ開始

開会宣言・イベントのガイダンス (開催者)

来賓のご挨拶 (経済産業省、仙北市長、IPA、ITCA など)

出展社・参加団体のご紹介

ステージ (講演、プレゼン)

13:30-16:30 (180分) 途中休憩あり。

・特別講演 (30分) (参考) 後段参照 (共催イベント)

・個別プレゼンステージ (150分)

16:30 閉会の挨拶。記念撮影

17:00 イベント終了 その後懇親会 (別会場)

「共催イベント」

シンポジウム：健診情報の可視化と地域への還元の未来

メインテーマ『学校健診・母子保健情報のデータベース化とその利活用について』

(京都大学学際融合教育研究推進センター政策のための科学ユニット) 文部科学省、総務省事業

シンポジウムの目的：学校健診・母子保健情報のデータベース化と分析、解析の必要性・有用性を主題とする講演を行い、合わせてイベント参加者と討議する。法制度に基づいて実施されている学校健診情報や母子保健情報を、本人の将来や予防医学、地域（日本）社会にとって有益な活用ができるようにすること。

13:30-14:00 特別講演 (ゆほぼメインステージ)

一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構、国立大学法人京都大学大学院医学研究科

登壇者：京都大学医学部教授 川上 浩司氏

14:10-15:30 サイエンスカフェの実施 (特設会場)

川上教授と仙北市民とのサイエンスカフェ (健診情報の活用と住民サービス)

(参加者：仙北市民、仙北市医療情報関連団体、教育委員会など)

〈ブース出展・ステージ登壇〉

「官公庁・自治体」

秋田県産業労働部
仙北市

「IoT 推進ラボ」

秋田県 IoT 推進ラボ
秋田横連携 IoT 推進ラボ
仙北市 IoT 推進ラボ

「学術団体関連」

京都大学（京都大学学際融合教育研究推進センター政策のための科学ユニット）共催
玉川大学（わらび座×小酒井研）
秋田大学・東京工業大学・秋田県医師会 三者間連携支援コンソーシアム

「産業界」

日本電気株式会社
株式会社両備システムズ
ディサークル株式会社
株式会社秋田ケーブルテレビ（CNA）
東光鉄工株式会社 UAV 事業部
株式会社田沢モータース
株式会社アルファシステム
株式会社わらび座
秋田銀行・北都銀行（田沢湖金融懇話会）
Kira Kira Display by TeamAKITA
（株式会社オクトライズ、株式会社ゼロロウム、合同会社オーエムジーワークス）
一般社団法人秋田県情報産業協会
一般社団法人国際医療福祉研究所
特定非営利活動法人 TinyFields
SFP パートナーズ
一般社団法人 MAKOTO
株式会社ローズメイ
Cafe モロビ

